

世界ストリートワークアウト・カリステニクス連盟 ナショナルチャンピオンシップ公式競技規則

ストリートワークアウトフリースタイル世界選手権大会
公式競技規則

世界ストリートワークアウト&カリステニクス連盟運営委員会承認
世界ストリートワークアウト・カリステニクス連盟運営委員会承認
ラトビア／リガ

世界ストリートワークアウト・カリステニクス選手権大会
競技規則

この規約は、世界ストリートワークアウト・カリステニクス連盟（以下「連盟」）が、連盟加盟国（以下「国」）のフリースタイル・ナショナル・チャンピオンシップ（以下「FNC」）の規約として、加盟団体と協力して作成されたものである。本規則は、当該国のFNCの開催に責任を持つ団体および個人（以下「主催者」という）、ならびに当該国のFNCに募り参加する意思のあるストリートワークアウト・アスリート（以下「応募者」という）および実際に参加する者（以下「参加者」）に宛てられたものである。

本規則に従って実施される当該国のFNCは、当該国の代表選手のWSWCF Street Workout / Calisthenics Freestyle World Championship,（「フリースタイル世界選手権」）への参加資格を本規則に記載された通りに確保するものである。本規則は、フリースタイル世界選手権大会の開催を確実にするために、名宛人が使用することのみを意図している。本規約の全部または一部を目的以外に使用、開示、複製することは、適用される法律により禁止されており、事前に本連盟の明示的な同意が必要である。

目 次

<u>オンラインフリースタイル選手権</u>	1~12
	P3~P4
<I 一般条項>	
<u>1. WSWCF ストリートワークアウトフリースタイル世界選手権の日程</u>	1.1~1.2
	P4
<u>2. ストリートワークアウトフリースタイル世界選手権年大会主催者</u>	2.1~2.2
	P4
<u>3. 当該国の SWFC の一般条件</u>	3.1~3.2
	P4~P5
<u>4. 参加者の条件</u>	4.1~4.10
	P5~P6
<u>5. 競技規則</u>	5.1~5.10
	P6~P8
<u>6. ウェイトカテゴリー</u>	6.1~6.6
	P8~P9
<u>7. ジャッジの要件とパフォーマンス評価</u>	7.1~7.20
	P9~P15
<u>8. フリースタイル世界選手権大会の参加者選出基準</u>	8.1~8.6
	P15~P16

フリースタイル選手権 (優勝者は世界選手権への出場権を獲得)

1. ライブイベントで適用される全てのルールとレギュレーションは、オンラインチャンピオンシップでも全く同じものが適用されます。
2. 選手は、すべてのルールに基づき、2分間のラウンドを2回録画しなければならない。ただし、2分間のラウンドを1つの動画に編集することのみ認められます。
3. ライブパフォーマンスと同じように、同じ動きを繰り返すよりも、2分より短いラウンドを作る方が良い。
4. ビデオの冒頭で、選手は体重計に乗り、ビデオを撮影する人は、選手がどの体重のカテゴリーに属するかを主催者が確認できるように、画面上で視覚的に明確になるように体重の数字を固定しなければならない。スケージングの撮影に使用する時間は、2分間のラウンド2回に追加されます。スケージングは、選手が演技を開始する前に、公園内で行わなければなりません。
5. スケージングビデオを2ラウンドのビデオと組み合わせることができ、スケージングを1つのビデオに入れることもできます。
6. 審査しやすいように、ビデオはYouTubeにアップロードし、プライベートリンクのURLで、リンクを持つ人だけがビデオを見ることができるようにならなければなりません。
7. 審査員および審査は、地元の選手権主催者が行うこと。国際的な審査員が全国オンラインチャンピオンシップの審査に参加することは、非常に歓迎されます。
8. 全国大会の主催者は、すべての参加者に10日前までに競技のビデオを撮影するように通知する必要があります。締め切り後の映像は受け付けられません。
9. 審査員は、全国大会の開催前に任命されなければなりません。
10. 審査時間は、結果発表の1週間前までとします。

11. ナショナルチャンピオンシップの勝者は、ディプロマ、メダル、トロフィーを授与され、写真に収められなければならない。T シャツ、主催者のバナー上の WSWCF のロゴは、画像に表示され、WSWCF ソーシャルメディアに投稿するために使用されている必要があります。政府による規制や遠方への移動の問題により、表彰式や写真撮影のための生中継が不可能な場合は、賞状やメダルを郵送し、受賞者は自分の写真を撮って主催者に送る必要があります。
12. その他、オンライン国別対抗戦の優勝者を世界選手権に参加させるための調整作業は、ライブイベントと同様に行います。

I 一般条項

1. WSWCF ストリートワークアウトフリースタイル世界選手権 2023 の日程

1.1

フリースタイル世界選手権は、8月に開催される（正確な日程場所は追って連絡する）。

1.2

フリースタイル世界選手権の正式な出場権を得るためには、その国の FNC を開催し、その結果を連盟に通知する必要がある。

2. ストリートワークアウトフリースタイル世界選手権 2023 年大会主催者

2.1

フリースタイル世界選手権は、本連盟が主催する。

2.2

各国における FNC は、その国の連盟の公式加盟団体および／または連盟に忠実なその他の団体によって組織される。

3. 当該国の SWFC 2023 の一般条件

3.1

当該国の FNC は、競技者が出席し、互いに顔を合わせて競技するライブの大会として開催されなければならない。

3.2

FNCの主催者は、その国のすべての参加希望者に平等に参加申し込みの機会を与えなければならない。

4. 参加者の条件

4.1

ある国のすべての応募者は、その国の FNCに応募し、参加することができる。

4.2

参加者は、大会の開催費用や FNCの優勝者のリガでのフリースタイル世界選手権への旅費に充当される場合、参加費を請求することができる。

4.3

参加者は、有効な健康保険に加入していなければならない（個人負担またはスポンサー／サポーター等による資金提供）。

4.4

FNCに参加するためには、有効な国際旅券を所持し、大会登録の際に提示しなければならない。

4.5

参加者は、自らの健康状態に全責任を持ち、競技中および自由行動中の自らの行動とその結果に対して、個人的に責任を負わなければなりません。

4.6

参加者は、フリースタイル世界選手権の出場権を獲得した場合、渡航するための法的権利を有していなければならない。18歳未満の参加者は、成人の同伴者なしに単独で旅行することができなければならない。

4.7

参加者がフリースタイル世界選手権への参加資格を得たにもかかわらず、個人的な理由により競技会場に到着できない場合、その参加は取り消され、それでも現実的に可能であれば、下記の条項 8.10 に基づく予備リストにある次の参加者に空席を提供する。欠場が予想される場合、参加者は可能な限り早く連盟と FNCの主催者に通知しなければならない。

4.8

参加者がフリースタイル世界選手権の出場権を獲得し、さまざまな団体から旅費の援助を受けていながら、フリースタイル世界選手権に渡らなかった場合、参加者は援助された旅費を1ヶ月以内に全額返金しなければならない。さもなければ参加者は5年間の競技会出場資格を剥奪される。

4.9

フリースタイル世界選手権に参加する全ての参加者は、航空機の遅延やその他の重大な事態が発生した場合、帰国するために十分な資金を確保しておかなければならない。また、主催者の仕事を中断することなく、この問題を解決することができる人が帰国していなければならない。WSWCF と他の主催者は、このような場合には、責任を負いません。

4.10

フリースタイル世界選手権に渡航するすべての参加者は、基本的な英語能力を有していなければならない。

5. 競技規則

5.1

FNCでは、各参加者は通常 2 回のラウンドで最高のパフォーマンスを見せることができる。

5.1.1

各ラウンドにおいて、1 人の参加者に与えられる最大演技時間は 2 分である。

5.1.2

参加者の順番は、FNCの直前に主催者により抽選される。

5.2

参加者がパフォーマンス中に選択した楽曲を使用できるかどうかは、当該 FNCの主催者の技術的支援に依存する。

5.3

参加者は、パフォーマンス中に、審査員を驚かせ、評価を高めるために、あらゆるストリート・ワー クアウトの要素を行うことができる。

5.4

競技中、参加者はグローブを使用することができるが、2014年以降の大会から、WSWCFのいかなる競技会でも体操競技用リングを使用することはできない。

5.5

2020年以降、参加者は、ステージ上のいかなる要素を行う際にも、他の参加者または第三者の助けを利用することはできない。ステージおよび競技エリアへの競技選手以外の者の入場は禁止する。主催側のカメラマン以外のカメラマンが、パフォーマンス中にステージに上がり、参加者を撮影することはできない。上記の規則のいずれかに違反した場合、参加者はペナルティを受ける。すなわち、各審査員が与えるポイントの半点を減点される。

5.6

他の参加者、審査員、視聴者を侮辱するような行為、ジェスチャー、属性は禁止されています。

5.7

国家的、人種的憎悪に関するいかなる違反も、断固として禁止されます。

5.8

ドレスコード ストリートワークアウトスポーツは、クラシック体操やスポーツ体操とは異なるため、参加者は、パフォーマンスだけでなく、衣装の選択も特徴的でなければならない。衣装に関する要件は、以下の通りである。

5.8.1

参加者は、つま先の閉じた靴を履かなければならない。体育館シューズは不可。

5.8.2

参加者は、膝上5センチ以内の長ズボンまたは短パンを着用しなければならない。ジョギング用の短パンや体操用の短パンは禁止されている。

5.8.3

ピチピチの体操用短パンは認められない。

5.8.4

参加者は、演技の豊かさを際立たせるために、選択したテーマに合った特別な衣装を使用することができる（例：ジェームズ・ボンド、バットマン、ゾロなど）。

5.8.5

体にフィットした体操服の着用は認めない。

5.9

参加者は、世界アンチ・ドーピング機構(WADA)の国際的な規則と要求に従って、ドーピングテストを行うことを要求される場合がある。参加者は、適切な場合にはアンチドーピング検査を受けることに取消不能の形で同意するものとする。

5.10

アンチ・ドーピング検査の結果が陽性であった場合、有罪の参加者は、2年間、ストリート・ワークアウトの公式大会への参加資格を剥奪される

6. ウェイトカテゴリー

6.1

参加者は、3つのウェイトカテゴリーと1つのアブソリュートカテゴリーに分けられる。

6.1.1

軽量級カテゴリー。男子選手は 68kg 以下、女子選手は 50kg 以下とする。

6.1.2

ミドルウェイトカテゴリー。男子選手は 68kg 以上 80kg 未満、女子選手は 50kg 以上 60kg 未満。

6.1.3

ヘビー級。男子選手は 80kg から、女子選手は 60kg から。

6.1.4

アブソリュートカテゴリー。全重量カテゴリーの男子選手と全重量カテゴリーの女子選手と一緒に参加する。

6.2

3つの重量区分のそれぞれは、参加者が6人以上であれば、個人競技及びタイトルが承認される。ライト級カテゴリーの参加者数が6人未満の場合、ライト級参加者は全てミドル級カテゴリーに移される。ミドル級カテゴリーの参加者が6名に満たない場合、全てのミドル級カテゴリーの参加者はライト級カテゴリーに移される。ヘビー級カテゴリーの参加者数が6人未満の場合、ヘビー級参加者全員がミドル級カテゴリーに移行されます。

6.3

計量は、競技会当日又はその1日前に行われる。

6.4

各重量カテゴリーの優勝者には、ライト級、ミドル級、ヘビー級のカテゴリーごとに「Street Workout / Calisthenics Freestyle National Champion 2023」の称号が与えられる。

6.5

すべての参加者の審査は、体重のカテゴリーを考慮することなく、平等に行われる。ジャッジによる全ポイントの集計が終了した後に、選手は重量カテゴリーに分けられる。

6.6

絶対的なカテゴリーの勝者は、絶対的なカテゴリーにおいて「Street Workout / Calisthenics Freestyle National Champion」のタイトルを受け取り、すべての重量カテゴリーの最高得点を合計することによって決定される。これは、アブソリュートカテゴリーの優勝者が、3つのウェイトカテゴリーのいずれかの優勝者でもあることを意味する。

7. ジャッジの要件とパフォーマンス評価

7.1.

FNCでは、ジャッジは3名でなければならない。

7.2

審査員は、ストリートワークアウトコミュニティの中で、それぞれの国または国際的にストリートワークアウトスポーツの組織化または発展に貢献した、よく知られた人物でなければならない。審査員は、高いモラルと客観性を持ち、利益相反のない人物でなければならない。審査員は、大会に参加するストリートワークアウトチームや団体に所属していないことが望ましく、そのチームや団体に有利な偏った審査になる危険性を回避するためです。

7.3

もしFNCの主催者が、ストリート・ワークアウト・コミュニティの中から静的要素の適切な専門家を見つけることに問題がある場合、代替案として主催者は、体操の専門家を静的要素の審査員に招聘することができる。これは、経験豊富なスタティック・エレメントの専門家が少なく、他国から連れてくる余裕のない国に適用されるかもしれない。

7.4

審査員は、競技に参加することも、参加者の演技中に補助をすることもできない。

7.5

各審査員は、各ラウンドで 0 点から 5 点の点数で参加者のパフォーマンスを評価します（点数が高いほど良いパフォーマンスをしたこととなります）。ただし、各審査員は、参加者のパフォーマンスについて、以下の 1 つの基準のみを評価する責任を負います。

7.5.1

スタティック・エレメント審査員 7.5.1 スタティック・エレメント審査員 第 1 審査員は、スタティック・エレメントにのみ 0 点から 5 点までの点数をつけるものとする。この審査員は、スタティック・エレメントの専門家として知られ、動きのすべての詳細と難易度を知っていなければなりません。

7.5.1.1

静的要素の審査員は、参加者が 1 つのラウンドで 1 つの完璧な静的技しか見せなかった場合、最高で「1.5」点までの点数を与えてもよい。

7.5.1.2

静的要素の審査員は、参加者が 1 ラウンド中に 2 つの完璧な静的技を見せた場合、最大で「3」点までの点数を与えてもよい。

7.5.1.3

静的要素の審査員は、参加者が 1 ラウンド中に少なくとも 3 つの完璧な静的技を見せた場合、最高で「5」点までの点数を与えてもよい。静的要素とは、ホールド（3 秒以上）およびスローモーションのパワーとストレングスの技のことで、例えばプランシェ、ヒューマンフラッグ、フロントレバー、バックレバー、スローマッスルアップなど。

7.5.2

ダイナミックエレメントのジャッジ 第2 (2nd) 審査員。このカテゴリーは、(1) ダイナミックストレングスと (2) ダイナミックアクロバットの2つのサブカテゴリーに分けられる。

7.5.2.1

動的要素の審査員は、1つのラウンドで参加者が動的な強さの動きのみを示した場合、最大で「2.5」点まで の点数を与えることができる。

7.5.2.2

動的要素の審査員は、1つのラウンドで参加者が動的なアクロバティックな動きのみを見せた場合、最大で「2.5」点までの点数を与えてもよい。

7.5.2.3

動的要素の審査員は、1つのラウンドで強さとアクロバットの動きを見せた場合、最大で「5」点までの点数を与えることができる。

※ダイナミックストレングス要素とは、筋力アップ、片腕懸垂、ハンドスタンドプッシュアップなど。

※ダイナミック・アクロバット要素とは、スピン、フリップ、その他勢いが主に使用されるすべての要素を指します。

7.5.3

ムーブコンビネーションジャッジ 第3 審査員は、静的および動的な技の組み合わせに対してのみ、「0」から「5」までの点数をつけるものとします。このジャッジは、コンビネーションのスペシャリストとして知られているか、ストリートワークアウト・フリースタイル競技のジャッジに経験があることが必要である。2020年より、コンビネーションジャッジは、セパレートミックスコンビネーションよりも長く続くクリーンミックスコンビネーションに高い点数をつけることが要求される。

7.5.3.1

コンビネーションジャッジは、参加者が1ラウンドで静止技のコンビネーションのみを見せた場合、最大で「1.5」点まで の点数を与えることができる。

7.5.3.2

コンビネーションジャッジは、1ラウンド中に参加者が動的な技の組み合わせのみを見せた場合、最大で「1.5」点まで の点数を与えることができる。

7.5.3.3

コンビネーションの審査員は、参加者が1ラウンドで少なくとも2つの静的、動的な技の組み合わせを見せた場合、最高で5点までの点数を与えることができる。混合技の組み合わせは、1つの組み合わせの中に少なくとも2つの動的要素と2つの静的要素がある場合にのみ認められる。

※ムーブコンビネーションとは、参加者がある要素から別の要素に移行する際に、構築から外れたり、床でルーティンを止めたりすることなく行う流れのことである。ムーブ・コンビネーションのジャッジは、個々の静的または動的な動きとその品質を評価してはならない。

7.6

各審査員は、以下の規定に従って、すべての点数範囲を使用しなければならない。7.6 各審査員は、以下に示す規定に従い、すべての点数を使用しなければならない。すべての点数とは、「0」、「0.5」、「1」、「1.5」、「2」、「2.5」、「3」、「3.5」、「4」、「4.5」、「5」である。

7.7

参加者が質の良い静的要素のみを示し、動的要素や技と要素の組み合わせを示さなかった場合、静的要素の審査員からのみ最大「5」点まで取得できる。他の2名のジャッジは「0」点を与えなければならない。

7.8

参加者が質の良い動的要素のみを示し、静的要素や技と要素の組み合わせを示さなかった場合、動的要素の審査員のみから最大「5」点まで獲得することができる。他の2名のジャッジは「0」点を与えなければならない。

7.9

もし参加者が質の良い静的要素と動的要素を示したが、技と要素の組み合わせを示さなかった場合、静的要素と動的要素の両方のジャッジから最大「5」点まで獲得することができる。技の組み合わせのジャッジは「0」点を与えなければならない。

7.10

もし参加者が質の良い静的要素および技と要素の組み合わせのみを示し、動的要素を示さなかった場合は、静的要素および技の組み合わせの両方のジャッジから最大「5」点まで獲得することができる。動的要素のジャッジは「0」点を与えなければならない。

7.11

もし参加者が質の良い動的要素および技と要素の組み合わせのみを示し、静的要素を示さなかった場合、動的要素および技の組み合わせの両方のジャッジから最大「5」点まで獲得することができる。静的要素のジャッジは「0」点を与えなければならない。

7.12

第1、第2、第3審査員は、参加者が失敗した場合、そのラウンドの演技に最大限の点数（5点）を与えることができない。

7.12.1

参加者が、あるラウンドで1回だけ失敗した場合、第1、第2、第3審査員からそれぞれ最大4.5点を得ることができます。

7.12.2

参加者は、あるラウンドで2回以上の失敗があった場合、第1、第2、第3審査員からそれぞれ最大4点の得点を得ることができる。

7.12.3

両手で鉄棒から落ちる、または片手を鉄棒につけたまま部分的に落ちた場合のみ失敗とする。

7.12.4

前述の以外のすべての失敗は、要素の「悪い形」とみなされ、特定の部門のジャッジによって考慮されなければならない、もはや失敗とは定義されない。

7.13

第1、第2、第3審査員は、特定のラウンドで参加者がエレメントを繰り返した場合、そのラウンドの参加者の演技に最大点（「5」点）を与えることはできない。

7.13.1

参加者が、あるラウンドで1回だけ要素を繰り返した場合、第1、第2、第3審査員からそれぞれ最大「4.5」点を得ることができます。

7.13.2

参加者が、あるラウンドで2回以上エレメントを繰り返した場合、第1、第2、第3審査員からそれぞれ最大4点までの点数を得ることができます。

7.13.3

エレメントを組み合わせて行う場合、最低3つのエレメントのうち1つのエレメントとして、全く異なるルーティンで組み合わせられる場合は、エレメントの点数は減点されない。

7.14

各ラウンドで各審査員が各参加者に点数をつけ、両ラウンドの点数を合算する。競技終了時に、両ラウンドで獲得したポイントの合計が最も高い者が勝者となる。

7.15

審査員は、最後の参加者の演技が終わる前に（つまり、第1ラウンドのすべての参加者の演技を見る前に）、第1ラウンドの最終評価を下すことはできない。審査員は、第1ラウンド中にメモを取らなければならないが、第1ラウンドが終了した後にのみ、最終的な点数をつけることができる。これにより、より正確で客観的なパフォーマンスの評価と採点が可能になります。このルールは第2ラウンドには適用されません。

7.16

参加者が本規則第5.10項に記載された要件を無視した場合、そのラウンドのすべての審査員から「0」点を受けるものとする。

7.17

競技会前に、各審査員には、審査作業を容易にするために、すべての必要条件が記載された表を含む書類が手渡される。表の見本は、連盟が作成し、2023年FNCの準備段階において主催者に配布される予定です。

7.18

競技会前に、すべてのジャッジは競技会規則を理解し、その規則への同意を署名で確認しなければならない。さらに、審査員は主催者が全審査員に提供する特別な審査ガイドラインを熟知していなければならない。

7.19

同一の結果（2人以上の参加者が獲得したポイントの合計が同じ）の場合、審査員は、建設的な議論を提示することで、合議制かつ民主的に勝者を決定する。

7.20

審査員が付与したすべての点数は、結果の集計後直ちに公表されなければならない。

8. 2023年フリースタイル世界選手権大会の参加者選出の基準

8.1

各国において、特定のフリースタイル国内選手権のそれぞれの重量カテゴリーの参加者が6名以上であった場合、それぞれの重量カテゴリーのベスト2名の参加者が自動的にフリースタイル世界選手権に参加する権利（「選抜参加者」）を獲得するものとする。もし、いずれかの重量カテゴリーにおけるフリースタイル・ナショナル・チャンピオンシップの参加者が6名以上でなかった場合、国はこの特定の重量カテゴリーの勝者をフリースタイル世界選手権に送ることはできない。

8.2

フリースタイル世界選手権の選抜参加者の旅費（旅行保険とビザを含む）は、選抜参加者、またはFNCの主催者もしくは参加者が、旅費を参加費、スポンサーまたは政府の支援から得ることができる場合は、負担しなければならない。

8.3

もし、参加者がフリースタイル世界選手権の出場権を獲得し、いかなる団体からも旅費の援助を受けていながら、フリースタイル世界選手権に渡らなかった場合、参加者は1ヶ月以内に失った旅費を全額返金しなければならない、さもなければ参加者は5年間競技会から失格となる。

8.4

フリースタイル世界選手権大会の各選出参加者は、航空券、ビザ、健康保険、旅行保険、食費、現地交通費（空港、バスターミナル、選手権会場内）、参加費、娯楽費、その他同様の個人経費を自己負担しなければならない。

8.5

選出された参加者は、連盟と書面による参加契約を締結した場合に限り、フリースタイル世界選手権に来訪し、参加することが許可される。

8.6

連盟およびFNCの主催者は、選抜された参加者がフリースタイル世界選手権の競技会場へ移動することができない場合、一切の責任を負わない。もし、ある国の選ばれた参加者が渡航の可能性がなく、ビザを取得できず、必要な保険を確保できない場合、フリースタイル世界選手権に参加する権利は、その国のFNCの最終順位に従って、選ばれた参加者の次に高いスコアを持つ参加者に譲渡される。